



# 浜家連 ニュース10月号

第254号

2021年10月1日発行

発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会  
事務局 〒222-0035 横浜市港北区烏山町 1752 番地  
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階  
電話 045(548)4816・FAX 045(548)4836  
URL <http://hamakaren.jp/>

声よとどけ！閉ざされた扉よひらけ！

副理事長 倉澤 政江

浜家連ニュース9月号巻頭言で稲垣副理事長が書かれたETV特集「精神科病院×新型コロナ」での都立松沢病院スタッフの奮闘を読み、また番組をご覧になった方も様々な感想を持たれたと思います。日本の精神科医療が抱えている問題が可視化されこの様な映像がよく撮れたな、と驚きもしました。

その中で、精神科病院協会会長山崎学氏の発言が気になりました。

「一般医療は医療をするだけじゃないですか。精神科医療は保安までやっている。社会の秩序を担保しているんですよ」

かつて精神科医療は社会防衛、治安維持の側面が強くありました。社会に馴染まない人や異質とみられる人を「精神病」として収容してきた歴史があります。そしてその影が連綿と今に続いています。精神病患者は「怖い」、「何をするかわからない」、等のステレオタイプの偏見が世の中に漂い、ときにG・H建設反対運動の様な形で私達の前に立ちはだかります。

沖縄・オリブ山病院の横田泉先生は著書の中で「精神科病院は構造的に「収容所性」を持って

る。収容所性とは収容する側には権力が与えられ、される側は服従しかできない。異議を唱えると、より厳しい制限や弾圧が課せられる。支配と服従が徹底され疑問を持つことさえ許されず、ただ従うことが日常になるのが「収容所性」だ。

精神科病院の権力のあるところ、上下関係のあるところ、収容所性のあるところすべてに暴力が生じる可能性がある。＝（「精神医療のゆらぎとひらめき」・日本評論社より引用）

脱病院化が言われている現在において山崎会長の保安発言は精神科医療の負の歴史と重なって、軽く聞き流すことなどできないと思います。

8月19日付の東京新聞が「精神科病院での虐待が後を絶たない。防止徹底で法改正を急げ！」と報じています。

浜家連は障全協（障神奈連の上部団体）を通して、国に虐待防止法の自治体への通報義務の中に病院や学校を加えるように要求しています。

横浜市への令和4年要望書にも「患者の権利擁護の徹底」を掲げました。先日、健康福祉局との懇談では、年1回の病院実施指導（立ち入り調査）を行っているという回答がありました。しかし、調査



は事前通告であり、書類上の記載の辻褄が合っていれば問題になりやすく、精神科病院が人権侵害の温床になっているとの強い認識を持たないと入院中の患者の声は届かないと思います。

人間として基本的なこと、当然なことが精神障害者にとっては大切にされてきませんでした。奪われてきた当たり前の権利にもっと敏感になれ！とETV 特集を通して活を入れられました。

追記：民間の第三者機関(権利擁護者)として患者の立場にたち、活動している神奈川精神医療人権センター(KP)には1年で126件の声が寄せられたとのこと。精神科医療の閉鎖性や密室性のドアを突き破ろうと活動しているKPを応援しましょう。

## 浜家連の動き



横浜市会各会派に続いて、横浜市への要望書の提出・健康福祉局との懇談会が行なわれました。この報告が届いています。

### 精神保健福祉施策要望書の懇談に参加させて頂いて すずらん会 矢沢 美枝子

日時：令和3年8月19日(木) 1時半～4時

場所：横浜ラポール3階 第一会議室

健康福祉局からは上條部長以下8名の方々が出席され、浜家連からは理事長、副理事長、常任理事、理事、会員、事務局の11名が出席しての懇談会でありました。健康福祉局側の司会は中西さんが担当で、浜家連は大羽副理事長の進行により行われました。



健康福祉局の自己紹介と浜家連宮川理事長の挨拶、参加者の自己紹介ではじまりました。冒頭、要望書の話の前に2021年度浜家連啓発活動の予定について稲垣副理事長より報告がありました。そして要望書についての懇談がはじまりました。

#### ① 重点項目「重度障害者医療費助成拡大」について

精神障害の生活実態を調査してほしいとの要望をしましたら、「横浜市単独ではむずかしい。県から情報がまだないのでまだ進めていない・・・」という回答。県と歩み寄っていけないのが残念です。県と市との間に何かがあって歩調を合わせることができないのでしょうか。

#### ② 地域包括ケアシステムについて

医療機関と区役所、生活支援センター、基幹相談支援センターが協力して、精神障害者が暮らしやすい社会基盤を構築してほしい。また、地域包括ケアシステムの構築事業の進捗と平行して地域全体で精神障害の方をサポートしてほしい。入退院をくりかえし、その後のケアが全くなされていないので家族が大変困っている。等々の多くの意見がありました。

上記以外のテーマについても多くの意見交換が行われました。

今回私は初めての懇談会への出席で、ただ傍聴しているだけで何もお役に立たず大変申し訳なく思っています。これからは一つ一つ自分のために勉強を重ねて役割を把握できるようにと望んでいます。大変お世話になり誠にありがとうございました。

最後に机・椅子のかたづけをしておりましたら、司会を行っていた中西様が一緒に手伝って下さりまして、とても嬉しいひとこまでした。

ありがとうございました。



## 市長陳情書を提出しました。

健康福祉局との懇談会の中で意見交換を行った「精神障害者の生活実態調査要望」について、神奈川県と同様に実施してほしいとの強い要望が出されたことから、三役会議、理事会で討議を重ね、以下の市長陳情書を提出しました。

### 横浜市も詳細な精神障害者の生活実態調査を行ってください

日頃より私たちの活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標題の件、令和4年度予算編成に向けた弊会の重点要望に対する市の回答を受けての私どもの要望です。

令和2年12月の神奈川県議会での精神障害者への医療費助成拡充の請願採択に伴い、県はその実現に向けて今年度中に精神障害者の生活実態に関するより詳細な調査を実施することを発表しています。具体的な内容としては精神障害者保健福祉手帳の所持者を対象として、医療機関の受診状況や医療費の負担額、就労の状況、障害福祉サービスの利用状況、外出状況などを調査する予定ということです（「障害者の生活と権利を守る神奈川県連絡協議会（障神奈連）」の令和4年度予算要望に対する県知事部局の回答）。

令和3年8月の市健康福祉局と弊会との懇談会において、医療援助課長は、この調査について「県からは何の連絡もないので知らない」と述べられましたが、重度障害者医療費助成制度が県と市町村との共同事業であることは周知の事実です。「連絡がないから知らない」まま放置することはしないでください。

医療費助成の拡充に向けて県との密な連携関係を持続するために、県からの連絡を待たずに市として問い合わせを行い、この調査に協力してください。政令指定都市が県の調査事業の対象から外れているのであれば、市独自でも同等の範囲、同等の精度の精神障害者生活実態調査を行い、限られた予算の中で助成拡充が可能な方法を検討してください。

その後の対応についての文書での説明を、令和3年中に弊会にいただくとともに市のホームページ上で公開してください。

以上、働きたくても働けず、医療費の負担に苦慮している精神障害者とその家族の切実な願いであることをご理解ください。

なにとぞよろしくお願いいたします。



## 第1回 市民メンタルヘルス講座は中止になりました

第1回 市民メンタルヘルス講座は緊急事態宣言の中、開催の是非について検討を重ねた結果、コロナウイルス感染防止の観点から「中止」との苦渋の決断に至りました。これについては啓発委員会からメッセージが届いています。

### 第1回 市民メンタルヘルス講座の中止に関連して 啓発委員会 稲垣宇一郎

9月25日（土） 瀬谷公会堂で佐々木常夫講師による「働きながら家族再生」～仕事も家族もあきらめない～の講座は、新型コロナ感染症が未だ先が見えない状況の中で、残念ながら中止とさせていただきます。

講演の準備を頂いていた佐々木講師、講演会開催に至る諸準備を担って頂いた家族会の方々、そして講座を楽しみに申し込まれた方々には、申し訳ございませんでした。

特に、佐々木講師には2019年10月の第25回市民メンタルヘルス講座で講演をお願いしておりましたが、この時は台風19号直撃で急遽中止、復活講座を2020年3月に計画しましたが、この時は新型コロナウイルス感染症が発生の為に中止、そして今回の中止で3回目となりました。佐々木講師にとりましては、浜家連との講演会は「天災が3回も重なるとは・・・、なんという縁」と思っておられるでしょうが、その都度「次の機会を」とご理解いただいております。

そこで、今回のテーマに一番関係あると思える著書、「ビッグツリー」を各単会に1冊お渡ししました。今回の講座でお会い出来なかった佐々木講師のお人柄に触れてください。

### <ビッグツリー>

佐々木 常夫 著

「ガイアの夜明け」に著者登場! 「ワークライフバランス」の珠玉のモデル!

6度の転勤、単身赴任、激務そして……。

自閉症の子、うつ病の妻の心と命を守り抜き、東レ同期トップで取締役。

苦しいときも「家族の絆」と「仕事」で乗り越えた男のドラマ。何も問題ない家なんてない!



### 家族学習会実行委員会から

9月6日(月)に予定していましたが「担当者研修会 in 横浜」は、コロナウイルス感染防止のため延期いたしました。開催の日程が決まりましたらお知らせしますのでご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

### § イベント情報 §

#### ◆第4回 市民メンタルヘルス講座◆

見過ごされた大人の発達障害  
～その人らしい生き方を支える～

日時 2021年11月28日(日) 13:30~16:00 (開場 13:00)

会場 ・横浜市健康福祉総合センター4階ホール  
・Zoomによる視聴もできます。

講師 吉田友子氏 (オンラインでご講演いただきます)  
(児童精神科医:千代田クリニック院長、iPEC 所長)

定員 会場150名 (先着順) 事前申し込み必要  
Zoom100名 (先着順) 事前申し込み必要 (メールのみ)

申し込み FAX: 045-548-4836 ・メール: ysskr@bloom.ocn.ne.jp  
2021年11月19日(金)まで

入場無料



【編集後記】多くの感動を与えてくれたオリンピック、パラリンピックが終わりました。気がつくといつの間にか過ぎしやすい季節になっていました。

いよいよ市民メンタルヘルス講座が始まります。今年度はオンラインによる講演など、初めての試みもあります。「オール浜家連」で乗り越えましょう。(事務局 中居)